



## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果から

4月18日に小学校6年生を対象に「全国学力・学習調査」が実施されました。今年度は、「国語」「算数」の2教科と「児童質問紙」で実施しました。この調査は児童が今持っている力を生活に活用したり、課題を解決するための構想を立て実践し評価・改善したりする力を試す機会です。子どもたちの学力すべてをあらわすことではありませんが、大和小学校では、今回の結果について全教職員で情報共有し、全学年で今後の授業や指導の改善にどのように生かしていくかを話し合いました。これまでの取組の強みを生かしながら、課題については改善を加えて、指導の充実を図っていきたいと考えています。

児童質問紙からは、基本的な生活習慣や家庭学習・読書の習慣が、学力に大きな影響を与えていることもわかってきました。家庭と学校が連携して取り組むことが、子ども一人一人の学力向上につながると考えます。今後も、学校と家庭が一緒になって、子どもたちの健やかな成長のために、力を合わせていききたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。

結果分析や今後の方針がまとまりましたので、お知らせします。

### 【本年度の結果についての分析】

本校児童の平均正答率は、国語・算数の2教科とも全国平均・三重県平均を下回っているという結果でした。

【○・・・本校6年の強み      ●・・・本校6年の弱み】

### 【国語】

- 送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うことができている。
- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができている。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。
- 学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができる。
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることができる。

### 【算数】

- 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることができる。
- 正方形の意味や性質について理解している。
- 「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることができる。
- 百分率で表された割合について理解している。
- 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述することができる。
- 高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することができる。
- （ ）を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができる。
- 示された棒グラフと、複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見いだした違いを言葉と数を用いて記述することができる。

### 【児童質問紙より】

- 基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん）がしっかり身につけている。
- 先生が、自分たちのことを認めてくれていると感じている。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思っている。
- 学校に行くのが楽しいと思っている。
- 友達との関係が良いと思っている。
- PC・タブレットなどのICT機器を、学校の授業で使用してきたと感じている。

- 道徳の授業で、自分の考えを深めたり、学級やクラスで話し合ったりする活動ができていると感じている。
- 日本や自分が住んでいる地域のことを、外国の人にもっと知りたいと思っている。
- 学習の中で PC・タブレットなどの ICT 機器を使うことは勉強の役にたっていると思っている。
- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている。
- 5年生までに受けた授業が、自分にあった教え方、教材、学習時間になっていたと思う。
- 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている。
- 自分には良いところがあると思っている。
- 人が困っているときに、進んで助けている。
- 困りごとや不安があるときに、先生や学校の大人に相談できている。
- 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、図書館等を利用している。
- 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりの勉強時間が1時間以上である。
- 読書が好き。
- 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立て等を工夫して発表できている。

### 【基本的な生活習慣礎・学習習慣の育成、安心感のある学級づくり】

- ◆**家庭学習**を充実する。成徳中学校ブロック「家庭学習のてびき」に応じて、30分～1時間の家庭学習を習慣化する。また、高学年からは自主学習を取り入れ、自主的に復習したり、興味・関心に応じて調べ学習を行ったりできるように指導し、自主的・計画的に学ぶ力を育てる。
- ◆**生活習慣チェックウィーク**に取り組む。家庭と協力し、学期に1回「生活習慣チェックウィーク」を実施し、自分とメディアの関わりや生活習慣を振り返り、よりよい生活・学習習慣が整えられるよう取り組む。また、読書や運動の習慣を育む。
- ◆**安心感のある学級づくり**を行う。間違いや失敗が大切にされ、「わからない」が言えたり、先生や友だちに相談できたりする雰囲気を作り、安心感のある温かい学級の中で、学び合い、高め合うことのできる仲間づくりを進める。

## 今後の方針



### 【基礎・基本の徹底】

- ◆朝の読書を継続し、語彙力や言語感覚を高める。
- ◆朝学習・反復学習（スパイラル）により、漢字や計算の基礎的知識・技能を定着させる。

### 【授業の充実】【“学びのスイッチ”が入る授業づくり】

#### ◆**ゴールを明らかにした授業づくり**

- ・単元・本時のゴールを明らかにした授業づくりに取り組む。

#### ◆**めあてと振り返りのある授業づくり**

- ・教材研究を深め、導入を工夫し、楽しい、できたという満足感をたくさん味わわせる。
- ・授業においては、めあて・学び合い・振り返りなどの指導課程を意識し、ねらいや目的に応じて授業を展開する。

#### ◆**考えを出し合い学び合う授業づくり**

- ・自分の考えを持つために、「書く」活動を取り入れる。また、字数、条件などに合わせて、自分の考えを書く活動を取り入れ、考えや情報などを整理しまとめる力を鍛える。
- ・子ども同士で学び合いの場を設ける。（ペア学習・グループ学習・全体交流）

#### ◆**個別最適化の授業づくり**

- ・児童一人一人が自分に合った「めあて」を決め、その方法で課題に取り組む。

#### ◆**言語活動や算数的活動の充実**

- ・言語活動（対話、記録、報告、要約、説明、感想など）や算数的活動（数を比べたりする活動、見つけたり、調べたりする活動など）を充実させる。

#### ◆**ICTを活用した主体的・対話的で深い学びのある授業づくり**

- ・タブレットの端末機能をはじめ、学校のICT環境を効果的に活用した授業に取り組む。
- ・ICTを有効なツールとして活用し、子どもたちが自分の思いや考えを効果的に表現する機会を増やす。
- ・ICTを活用した家庭学習の充実を図る。
- ・デジタルドリル等のより一層の活用を図る。